



2期目
【39歳】

川内たかゆき後援会便り

元気

みなぎる通信

2021
新年号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX：0986（77）5298

《2期目もあと1年。その先に向けさらに精進してまいります！》

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、川内たかゆき並びに後援会に対し、多くの御指導、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナの感染者が都城でも急激に増え、日々の生活や仕事などに想像以上の困難が立ちはだかる一年となりました。そんな状況の中、ふるさと納税額が初の3ケタに上るなど明るいニュースもありました。このふるさと納税により、新型コロナウイルスへの市独自の対策が他自治体に勝るものを出せた要因でもあります。引続き取組んでまいります。

私個人としては、これまで会派の一員として議会活動をしてきましたが、議員として今一度原点に立ち返り、冷静なまなざしでこの局面を見ていきたい、取組みたいとの思いから会派を離れ6月から無会派となりました。このことで、これまで見えていなかったもの、見てこなかったものが見えるようになり、広い視野で行動できるようになりました。

残された任期あと1年。コロナの終息を願いつつ、更に更に、元気みなぎる都城を目指し走り、動き、伺ってまいります。宜しくお願いします！

都城市議会議員 川内 賢幸

都 城 2020

◎子どもの医療費拡充

議会での質問や意見書等で度々議論されてきた子ども医療費拡充が4月から開始されました。この制度拡充により、中学生まで入院・調剤費「無料」、小中学生の受診については1医療機関あたり2000円/月の負担となる。

◎住みたい田舎ランキングで「九州1位」を獲得

宝島社『田舎暮らしの本』の2020年版住みたい田舎ベストランキング大きなまち（10万人以上）部門で、九州1位を獲得。全国でも10位。子育て支援や移住窓口設置、空港へのアクセス、農業の振興等が評価。

◎7月に新型コロナウイルスの感染者が確認。大型行事中止相次ぐ。

7月25日に本市初めての感染者を確認。以降8月末までに42例にのぼった。市民協力のもと、9月、10月の発生はなかったが、11月から断続的に増え始め、12月末現在70名を超える感染者が確認されている。

また、六月灯はすべて中止となり、本市の三大祭り「おかげ祭り」「ぼんち祭り」「島津発祥祭り」をはじめとして、全国ホルスタイン共振会も中止となるなど、計り知れない影響が出ている。

◎ふるさと納税初の3ケタ「106億4千万円」！

令和元年度のふるさと納税額が、過去最高となる106億453411千円となり、初めて3ケタへ。50万件を超えるご寄付をいただき、全国2位となりました。

◎中心市街地中核施設に複合施設の建設がようやく決定

㈱センター・シティが運営する複合施設がついに決定しました。決定した複合施設は、1階テナント式スーパー、2階オフィステナント、3階レストラン、4階から7階をホテルとする計画です。

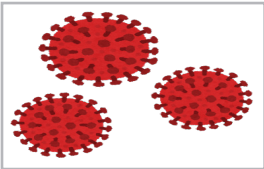
ホテル運営は小田急電鉄を株主とするUDS ㈱へ運営委託する方針。UDS ㈱全国でまちなか活性化への実績が多数ある会社。あわせて、市役所そばにある都城商工会議所は複合施設の2階へ移転予定。令和4年開業を目指す。

◎台風10号襲来

特別警報級3の台風10号が9月6日から7日にかけて襲来。避難所には多くの市民が詰めかけ、1000人を超える市民が避難し、複数の避難所で定員一杯となるなど混乱も見られた。幸い人的な被害はなかった。

◎市長3期目へ

スマイルシティ都城を掲げて市政運営に取り組んできた、池田宜永市長が2期連続の無投票によって再選された。3つの宝「農林畜産業の振興」「地の利の拡大」「人間力あふれる子どもたちの育成」の更なる発展を表明。



川内たかゆき

この一年

会 派：無会派（6月より）

委員会：文教厚生委員会

役 職：立法審議会副座長（令和2年5月まで）

その他：防衛議員連盟、歴史文化財研究会 他

自民党県連青年局長次長兼山之口支部青年局長

都城市消防団山之口分団第2部 部長

【一般質問詳細は HP に公開。 [川内たかゆき](#) で検索！】



【正月元旦 辻立ち】



【山之口新春マラソン参加】



【消防団活動】



【川内たかゆきと語る会】



【会派市政報告会：志和池】



【全国若手市議会議員の会：宮崎】



【道づくりを考える宮崎中央女性の会：高原】



【台湾台北小学生来日歓迎会】



【骨髓バンクドナー説明員講習：福岡】



【どんぐり1000年の森を作る会：植樹・草刈り】



【大淀川サミット活動：クリーン作戦】



【都城青年会議所活動：まちなか清掃】



【自民党青年局活動：災害支援熊本】



【青井岳の森ふれあい交流会：選足支援】



【まちづくり協議会活動】



【みやこのじょう子ども宅食 応援】

使って下さい！川内たかゆき！！ 皆様の困りごと、疑問に思っていること、要望等お気軽にお問い合わせください！

080-5602-4463（本人直通）

《一般質問及び議員提出議案・請願》



定例議会は3月、6月、9月、12月に開催されています。
1期目からの登壇数は27回。（本年6月は、コロナ対策のため、一般質問をなくし文書質問とした）本年は、以下の項目について質問しました。**詳細は「川内たかゆき」のホームページで公開。**

- ・市長の政治姿勢
- ・2020年度新規事業について
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・こども宅食への支援について
- ・ごみ収集の在り方について
- ・避難所運営の在り方について

【3月一般質問・附帯決議提出】

◎市長の政治姿勢、2020年度新規事業
《質問概要》3期目挑戦を表明した池田市長の政治姿勢について、これまでの成果と今後の取組方針を質問。
2020年度新規事業については、新「道の駅」やサル捕獲対策としてGPS装着、県立陸上競技場、学校のICT、6次産業化等、これまでの提言が反映されているか質問。
◎予算執行に関する附帯決議を提出
《提出意図》2020年度予算事業のうち、中心市街地の集合住宅建設等の補助金について委員会で否決となった。**市民ニーズの把握や中山間地域とのバランスのとれた事業提案を行うよう附帯決議提出。**12：16で否決。今後も議会の役割を果たせるよう取り組む。

【9月一般質問】

◎新型コロナウイルス感染症への対応について
《質問概要》市長メッセージが文書のみとなっているので**動画配信を提案。**あわせて聾唖の方々にも情報が伝わるように、今後の情報発信について**手話通訳を提案。**その他、**公共工事の工期柔軟対応や少年団等の練習への公平性、イベントの開催基準を定めること**などを提案。
◎子ども宅食への支援について
《質問概要》都城市では、子どもの貧困に対処するため、子ども宅食に取組んでいる団体がいる。国は、これらの取組みの重要性を認識し、6月に支援策として「見守り等強化支援事業」を打ち出した。本市でこの**事業への参加を早急に判断をするよう提案。**
◎ごみ収集の在り方について
高齢者のごみ出し支援や国が出したプラスチックごみ一括回収について質問。**高齢者のごみ出し支援の制度化を提案。**

12月議会で請願を提出！

12月議会では、請願の紹介議員の一人として請願の可決に向け取り組みました。
今回相談を受けたのは、国の指定難病である「網膜色素変性症」についてものでした。
「網膜色素変性症」は、網膜に異常をきたす遺伝性・進行性の病気であり国の指定難病となっている病気。市内には63名の患者がおられ、県内では600名程度になります。

【6月文書質問：コロナ限定】

◎新型コロナウイルス感染症対応について
《質問概要》6月は、一般質問を中止し、新型コロナに関連した質問のみ文書質問のみとした。
・公共工事への影響は出ていないか。
・イベント開催への対応はどうしているか。
・がんばろう事業者支援金の対象外となる理由。
・PCR検査体制の充実。
・市内事業者への消毒液などの配布を検討できないか。
・閉店状況はどうなっているか。 など
事業者支援金の対象拡充、PCR検査の充実、イベントへの次年度以降の補助継続、事業者のコロナ投資の負担軽減などを提言。

【12月一般質問】

◎3期目の市長の政治姿勢について
《質問概要》3期目の任期に入った市長の今後の4年間の取組について、公民館との連携や加入促進、6次産業化への方針、農業のこれからの取組み、老朽化を迎える公共施設への対応、空き家問題へ取組み、人口減少対策、新型コロナの対応について質問。
◎避難所運営と地域連携について
《質問概要》台風10号の襲来に際して、市内の1次避難所、2次避難所には多くの避難者が集まり、複数の避難所では定員が一杯となり混乱が見られた。新型コロナウイルス対策をした場合の受け入れ可能数は、**4万3000人から従来の3分の1の1万3900人**になることも分かった。避難所が遠く自治公民館を避難所とする地域も複数あり、今後の分散避難の観点から自主避難所との連携や地元企業の協力による避難所などの必要性を提言。**避難所については見直しを行っていくとの答弁。**

確実に進行を止める治療等は確立されておらず失明する場合があります。症状として視野の狭窄や夜盲などが見られます。
請願として
①**視覚障がい者へ移動支援について、1、2級以外の等級の患者にもタクシー券交付**
②**暗所での視界確保を補助する暗所視支援眼鏡の助成。1台40万と高額のため福祉用具「日常生活用具」の給付対象に。**
文教厚生委員会及び議会において、いずれも**全会一致で可決。**



これまでの取組みと成果

これまでの議員活動、議会活動での取組みと成果についてご報告します。
常日頃より、多くの市民の皆様から様々なご要望やご相談をいただいております。
すぐに結果を出せないものもありますが、粘り強く取り組んでまいります！

子どもの医療費助成拡大

子ども医療費拡充については1期目より取組んでおり、
①乳幼児負担金一律350円（26年度提案→27年度拡充）
②乳幼児医療費無償化（平成30年度）
③医療費助成を小中学生まで拡充（令和2年度）
平成29年質問で小児慢性特定疾病の子どもたち支援の観点から医療費助成拡充を提言。
令和2年度から乳幼児無料に加え、小中学生1医療機関200円/月と入院無料へ拡充された。

自己負担額（医療機関等窓口での負担額）	
未就学児	
入浴・清拭費用：無料	
薬代：無料	
小学生から中学生（令和2年4月1日～）	
入浴・清拭費用：無料	
薬代：1医療機関 200円/1月	
診療材料費等もある病院においては、薬料と薬料（診療報酬）でそれぞれ負担が必要になります。	

山之口駅の建替え

これまでまちづくりの観点から、山之口駅の改修を提案しており、今回の新県立陸上競技場の誘致に関して、駅舎の建替えが決定。2027年の国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会に向けて数年かけて建替えていく。
現在のところ、ホームなどの改修は出たらず、障がい者スポーツ開催の観点からも、バリアフリーなどの措置を訴えていく。



河川改修・道路改良

台風や大雨の際に河川増水のため、周辺の田んぼに大きな被害をもたらし、時には災害時の避難に支障をきたすこともあった山之口町花木の佐土原川について、防災・減災の観点から改修が決定。平成30年に、**県議や県・市担当者と合同の現地視察を実施。令和2年度から改修に向け着手決定。**
また、スマートIC開通後、交通量が増え、大型車の離合困難等の相談があった**市道丸岡440号線について、県立陸上競技場の建設に合わせて改良決定。**



子ども宅食支援事業化

子どもの貧困対策として、国が全額国庫補助で子ども宅食を支援する「支援対象児童等見守り強化支援事業」を打ち出したが、都城市では取組み組織があるにも関わらず事業申請を見送っていた。
相談を受け、実際の現場も視察し、9月の一般質問で早急に事業化することを提言。**12月議会で460万円の事業案を可決。**



がんばろう都城！事業者支援金の対象拡大

コロナ対策として打ち出された「がんばろう都城！事業者支援金」は、当初、
・都城市内に法人登記および事業所を有する事業者
・都城市内に住所及び事業所を有する事業者
・令和2年2月～6月のいずれか1つの売り上げと「前年堂同月」の売上を比較し、**昨年より減少した事業者**
といった条件であった。この条件だと、例えば三股に事業所のある市民や市内に事業所のある市外事業主、令和元年6月以降に開業した事業者は対象外となり、多くの相談が寄せられた。担当課と粘り強く相談を重ね、
・都城市内に「住所」を有する個人事業者
・都城市内に事業所を有する個人事業者
・令和元年6月2日以降に開業・設立の場合は、令和2年2月から6月のうち、**いずれかひと月の売上高等が、創業後のいずれか1月の売上高等と比較して減少していること**
などの対象拡大につなげることができた。交付実績は5592件。

市道の舗装改良着手

日頃より地元農家や市民の方々が、家畜市場などへのアクセス道路として利用している、市道都北・高木362号線の整備について4年ほど要望してきており、これまで区間の一部や交差点付近の舗装改修は行ってきたが、少しの雨で冠水するなど状態が著しく悪いことから3月の一般質問において早急な補修を提言。本年度から次年度早々にかけて舗装改修を行うこととなった。

